

眼科救急休日輪番調査及び結果について

1 調査対象、調査内容及び調査実施期間（調査票は参考資料2のとおり）

（1）調査対象

令和2年度に眼科休日輪番に参加した医療機関及び固定輪番を実施した休日急患診療所

（2）調査内容

輪番日当日の対応職員数、診療人数、診療報酬額等

（3）調査実施期間

令和3年7月～8月

2 回答状況

各医療機関からの回答状況は次のとおり。

①在宅当番医制

ブロック	輪番日数 (A)	回答日数 (B)	うち休日開診医療機関 (C)	Cの割合 (C/B)
横浜	71	57	52	91.2%
川崎	72	57	15	26.3%
三浦半島	72	56	6	10.7%
東湘・鎌倉	72	49	5	10.2%
県西	14	12	0	0%

②固定輪番医制

ブロック	輪番日数 (A)	回答日数 (B)
県西	58	58
相模原・県央	72	72

3 調査結果等（各ブロックごと及び全体の平均値）

医療機関からの回答を集計し、在宅当番医制、固定輪番医制の収支について試算を行った。

（1）収支状況

①在宅当番医制

	横浜	川崎	三浦半島	東湘鎌倉	県西	在宅全体
職員平均人数 (人)	11.3	3.9	3.5	3.4	3.9	5.5
支出 (概算平均・円) A	284,085	155,756	138,975	149,304	166,561	182,546
患者数 (人)	51.9	9.7	6.2	7.4	11.5	18.2
医科収入 (平均・円) B	344,173	71,114	43,209	58,447	104,707	126,595
収入+補助金 (円) (B+C) D	377,151	104,092	76,187	91,425	137,685	159,573
医科収支差引 (円) (D-A) E	93,066	-51,664	-62,788	-57,879	-28,876	-22,973

※休日も開院（開診）している医療機関は、通常診療も含めたもの。

②固定輪番医制

	相模原・県央	県西
職員平均人数（人）	2	2
支出（概算平均・円）A	163,134	113,323
患者数（人）	4.3	5.1
医科収入（円） B	34,867	/
収入＋補助金（円）(B+C) D	100,822	
医科収支差引（円）(D-A)E	-62,312	

※県西ブロックの収入は、眼科分の区分けができないため不明との回答。

（参考）試算方法（□で囲ったものが調査結果に基づく情報）

- ① 「対応職員数」の各職種ごとの人数 × 平均日給 = （輪番日における）支出（A）
（平均日給は令和元年医療経済実態調査等を参考、下記表のとおり。）
- ② 「診療報酬額」（医科収入）（B） + 補助金（C） = （輪番日における）収入状況（D）
- ③ 収入状況（D） - 支出（A） = 医科収支差引（E）として試算

医師看護師等の給与(医療経済実態調査より抜粋) 令和元年実施調査結果 一般病院		
	平均給与年額	日給(/240)
医師(病院長)	26,747,332	111,447
医師	14,908,542	62,119
薬剤師	5,587,295	23,280
看護師	5,072,054	21,134
看護補助	3,019,978	12,583
医療技術員	4,648,989	19,371
一般事務	4,213,648	17,557
視能訓練士※	4,300,000	17,917 ※
アルバイト		7,952 (時給994(×8))

※求人ナビより神奈川県平均年収

(2) 分析

- ・在宅当番医制では、全体として医業収支が赤字。（横浜地域を除く）
- ・固定輪番医制では、医業収支が赤字。

【具体的な状況等】

- ・横浜ブロックは（年末年始以外は）休日開院（開診）している医療機関が当番の大半を実施（91.2%）。
- ・横浜以外（川崎、三浦半島、東湘・鎌倉）のブロックは、72日のうち10.2%～26.3%位の日数を、休日開院（開診）している医療機関が当番を実施。
- ・県西ブロックは休日開院（開診）している医療機関が当番を実施していない。